



万燈通信

平成30年5月1日発行

中学1年生の5月が特に危険！ 中学生の交通事故

ー自転車は便利な乗り物ですが加害者になる事もありますー

4月27日（金）6校時に市の交通対策課より講師をお招きして、交通安全教室を行いました。

最初は、自転車の乗り方についてのDVDの試聴がありました。その中で、自転車事故の主な原因としては、「一時停止違反」「左側通行違反」「一列走行違反」が挙げられていました。DVDの中では、3つの原因による実際の事故場面が取り上げられていて、改めて事故の恐怖を実感することができました。また、講話の中で、中学生による事故件数（中学生1万人当たりの割合）が3年連続で「全国1位」であるという話がありました。特に、最近自転車運転者は被害者ではなく、加害者になる場合が大変多くなっています。自転車に乗るときには、歩行者に十分に注意しなければなりません。

平成27年6月から自転車は軽車両として扱われ、交通の危険を生じさせるおそれのある一定の違反行為（危険行為）を反復して行った自転車運転者に「自転車運転者講習」の受講が義務付けられたということは周知のことですが、改めて自転車の乗り方について再確認することが必要だと思います。

部活のための移動や登下校時はもちろん、自転車を使用することが多くなる時期です。左側一列通行（並進禁止）、ヘルメット着用、十字路・丁字路での一時停止（停止線で必ず止まる）をしっかりと守り、自分の身は自分で守る、周囲に迷惑をかけない運転を心がけるようご家庭でもご指導ください。



交通安全教室の様子

<表彰関係>

市春季大会

女子バスケットボール 第3位

家庭訪問ではお世話になります

ゴールデンウィーク明けの5月7日（月）より、ご多用の中お手数をおかけしますが、担任による家庭訪問を実施させていただきます。

生徒一人一人の良さを伸ばし、苦手なことを頑張らせたり、健康面の配慮事項を把握したりして健全育成を図るために、生徒理解はたいへん重要なことと考えます。また、保護者の教育方針を理解したり、学校の様子をお知らせしたりして、学校と家庭の連携を図ることで教育効果は高まります。さらに、通学路の安全を確認したり、進路について相談したりするための貴重な時間にもなります。このように、家庭訪問を実施する意義はたくさんありますが、何分限られた時間ですので、さらに時間が必要な場合には、後日、改めてお時間をいただきたいと思います。また、ご質問に対して即答できかねる場合には、お時間をいただくこともありますが、ご容赦ください。

なお、湯茶等の接待は必要ありませんので、ご心配なさらぬようお願いします。

この期間は特に教員の手が足りず、重大事故やトラブル防止のため、やむをえず部活動を休みにする日があります。帰宅時間が早まりますので、家庭学習に取り組みさせるなどご指導いただきたいと思います。また、健康診断で虫歯や疾病の疑いなど受診勧告があった場合などは、この期間を利用して通院していただくこと学習や部活動への影響が少ないと思います。

台風・豪雨・降雪等の自然災害に係る

登校時の安全確保について

—確認をお願いします—

台風や降雪時等で安全な登校が心配される状況が発生した場合は、事前に予測できる場合には、その対応について通知やメールで連絡していますが、連絡が間に合わないことも考えられます。また、地区によって道路等の状況が異なる場合もあります。そこで、本校では基本的に年間を通して以下の対応をしていますので、お子さんの安全確保を最優先に行動してください。

- 1 各家庭において状況を判断し、危険と思われる状況の場合には家庭に待機させ、安全な状況になり次第登校させてください。その場合、遅刻扱いにはなりません。ただし、必ず保護者から学校に連絡をください。(連絡なく登校していない場合は、事故や犯罪に巻き込まれたかもしれないという心配があるため)
- 2 事前に緊急の対応がある場合には、通知や「連絡メール2 (携帯メール)」を使用して周知を図ります。「連絡メール2」に接続ができない環境にある場合は、連絡の受信方法について確認をお願いします。
- 3 今後、雷雨発生時には天候が安定するまで下校時、学校に待機させる場合があります。天候が悪く、下校が普段より遅い場合(塾や習い事等に連れて行く等)には学校に連絡ください。
※雷雨時は様子を見ながら待機になるため、「連絡メール2」を配信できない場合があります。



学習のすすめ - 学習意欲を重視して! -

昨年の学校評価では、「家庭学習の仕方に課題がある」という評価でした

4月27日(金)2階のフロアは5時間目の授業までずっと静まり返っていました。17日の全国学力学習状況調査に引き続き、3年生になって初めての実力テストが行われました。

本校では、テストの結果を一人一人短冊状の紙に得点や学年順位を印刷し、「日進月歩」というペーパーファイルに貼り付けて、1年間の歩みを確認しています。1、2年生は近日中に返却されると思いますので、現時点の自分の学力を知り、次に生かして欲しいと思います。

さて、5月23日(水)は中間テストです。中間テストや期末テストは、決められた範囲の学習の成果を確認するためのテストです。1学期の成績にも大きく関わってきます。特に新年度初めての定期テストであるため、生徒がどのくらい頑張っているのか教員も期待しています。

そこで重要なのが、学習意欲です。昔から日常の学習時間の目安は「学年+1時間」といわれますが、いかがでしょうか?。しかし、時間がすべてではなく、どれだけ集中できたか、そしてその結果「何ができるようになったか」「何が身についたか」をどれだけ本人が自覚できているかが大切です。そうなるために、本人に合った「学習の仕方」を身に付けることが重要です。学習の仕方が確立していない場合には、早い段階で担任や教科担当の先生に相談するのがよいと思います。

また、保護者は結果のみを見て「頑張ったね」「努力が足りなかったね」などと言ってしまいがちですが、子どもの成長は結果のみではなく、どれだけ努力をしたか「成長=結果+努力の経過」で見取ってあげることが、学習意欲の向上につながると思います。テストに向けて、努力しようとしている姿が見られたら、ぜひ、テスト前にたくさん褒めて、お子さんの意欲を高めていただきたいと思います。